

フィノバレー、認定NPO夢職人と取り組む子どもの食支援「Table for Kids」で 第20回企業フィランソロピー賞「こころのフィンテック賞」を受賞

デジタル通貨の拡大に伴い、貧困問題に取り組む新たな可能性を評価

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）の連結子会社でフィンテック事業を展開する株式会社フィノバレー（本社：東京都港区、代表取締役社長：川田 修平、以下「フィノバレー」）は、社会の課題解決のために自社の経営資源を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰する「企業フィランソロピー大賞」（主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会、会長：浅野 史郎）において、企業フィランソロピー賞「こころのフィンテック賞」を受賞したことをお知らせします。

受賞対象となった取り組みは、首都圏を中心に子どもや若者を対象とした社会教育・社会福祉事業に取り組む認定特定非営利活動法人夢職人（本社：東京都江東区、理事長：岩切 準）を主体とし、フィノバレーがシステムパートナーとして連携する、経済的な事情を抱える子育て家庭を支援する「Table for Kids」（子どもの「食」応援クーポン事業）です。



3月3日に学士会館で行われた贈呈式の様子。浅野会長（向かって左）から賞状を授与された川田（右）

子どもの「食」応援クーポン事業「Table for Kids」について (<https://tfk.yumeshokunin.org/>)

「Table for Kids」は、認定特定非営利活動法人夢職人がデジタル地域通貨事業と展開する株式会社フィノバレーと連携し、2020年12月から取り組んでいる事業です。

子どもの「食」応援クーポンの利用を希望する家庭を公募し、公的証書の確認を含めて審査・選考を行ったうえで支援を決定しています。支援家庭に対して、スマートフォンのアプリからまちのお店の所定のメニューや商品で利用できるデジタルクーポン（ポイント形式）「カケハシコイン」を付与し、新たな食の継続的な支援に取り組んでいます。アプリからは、食の支援に加えて、経済的なご事情を抱えた親子を対象とした行政・自治体、他のNPO・団体の支援情報の提供も行っています。現在、東京都内5区（江東区、墨田区、中央区、江戸川区、葛飾区）の38店舗（飲食店、弁当惣菜店、精米店、青果店、精肉店等）が協力加盟店として登録しており、随時、協力加盟店の募集を行っています。

本取り組みは、文字通りサポートを必要とする人と応援したい人との「カケハシ」となっていること、デジタル通貨の拡大に伴い、貧困問題に取り組む新たな可能性を拓けていること、人の温もりをデジタルの活用でつなげる活動であることを評価いただき、今回の受賞となりました。

フィンバレー 代表取締役社長 川田 修平コメント

我々は会社としてはまだ創業5年弱、人数も15人の小さい会社です。そして「Table for Kids」自体もようやく3年目になります。そのような中で、第20回という記念すべき回に、これまで20年にわたり錚々たる企業様選ばれてきた栄えある賞をいただき、心より感謝申し上げます。この取り組みでは、認定NPO法人 夢職人様が地元江東区を中心に推進していることを、我々はあくまで支援している立場であり、分不相応にも感じています。「Table for Kids」では、経済的に厳しくなっているひとり親世帯の方に対して、賛同する約40の飲食店で使える食のクーポンを提供しています。もともと我々の発案でなく、認定NPO法人 夢職人代表の岩切氏にお声がけいただいたのがきっかけでともに取り組むこととなり、ご縁があってここに至ったと改めて思っています。

個人的な話で言うと、私自身も子宝に恵まれ、2児の父として子育てをする中で初めて気づく経験がたくさんありました。自身の両親からの愛情なども、子どもを持たなければ気づくことができなかつたことがたくさんあります。子どもを持ったからこそ、この取り組みへの気持ちや見え方も変わった部分があり、妻と二人の子どもにも感謝しています。

本取り組みは、関わるメンバーにとっても、働く意味や勇気や元気をもらえる機会にもなっていて、お金に代えがたいたくさんのお金をいただいています。今回、私たちのような小さな会社が、このような栄えある賞をいただけたのは、出世払いで選んでいただいていると思うので、選んでいただいたご期待に応えられるよう、しっかり取り組んでいきたいと思っています。また、しっかり大きな利息を付けて返していけたらと思います。

認定特定非営利活動法人 夢職人

本社：東京都江東区亀戸6丁目54番5号 小川ビル2階

設立：2008年4月25日

理事長：岩切 準

2004年より首都圏の子どもや若者を対象とした自然体験活動・野外活動、スポーツ・レクリエーション活動、科学・文化・芸術活動、社会体験・キャリア教育などの社会教育事業を展開しています。また、子どもと若者の成長を支えるウェブメディア「Eduwell Journal」を運営しています。コロナ禍となった2020年からは、経済的な事情を抱える子育て家庭に対して、デジタル技術を活用した新たな食の支援「Table for Kids」にも取り組んでいます。

<https://yumeshokunin.org/>

<https://eduwell.jp/>

株式会社フィンバレー

株式会社フィンバレーは、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を軸としたローカル決済ソリューションを通じて、地域や行政の様々な課題の解決を目指しています。岐阜県飛騨高山地方の電子地域通貨「さるぼぼコイン」や千葉県木更津市の「アクアコイン」、大分銀行・オーイーシーとの「デジタル商品券発行スキーム」、長崎県南島原市の「MINA コイン」、東京都世田谷区の「せたがや Pay」、熊本県人吉市の「きじうまコイン」、福島県磐梯町の「ぼんだいコイン」、東京都板橋区の「いたばし Pay」、長崎県佐世保市の「させぼ e コイン」、岡山県真庭市の「まにこいん」などの支援実績があります。

<https://finnovalley.jp/>

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO（Online Merges with Offline）支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI（音声インターフェース）、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。OMO支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績を持ち、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始予定です。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。